

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ここと。		令和7年 4月 28日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		広く設定されている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		適切に配置されている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	段差の排除、ドアに指を挟まないような構造になっている。 角にクッションをつけている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	清掃が業務に組み込まれている。 広く走って遊ぶスペースがある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		個室があり、いつでも入ることができる。 個室でクールダウンできる。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	積極的に参画できるようにしている。 常に子どもの療育の話をしており、話し合える雰囲気である。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		HPにて公表している。 内容も周知している。 毎年いただいた評価を基に改善している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		定期的に面談をしている。 面談を半年に一度行い、必要な時にも面談している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	保護者への評価をお願いし内容を公表している。	第三者の評価機関はない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		年間研修計画に沿って行っている。 安全研修、人権研修等、月に一度程度している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		HPにて公表している。 職員間で話し合って作成し、常に確認できる事業所内で保管している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		アセスメントや担当者会議を行い、計画書を作成している。 アセスメントを基に作成し、ニーズの把握に努めている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		担当者会議での意見を基に、計画書を作成している。 常に担当者会議にて意見を出し合い検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		目標決定後、終礼等で共有している。 モニタリングの後で終礼共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		標準化されたツールを使用している。 確認できている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		五領域に配慮した支援計画書を作成し、支援内容を設定している。 五領域、学校支援、移行支援を踏まえて作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		チームで行っている。	

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		職員ごとに対応を変える等している。 その日の子どもの状況に合わせて工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	臨機応変に対応している。 個別療育やイベントなどの集団療育で作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	朝礼業務や会議で共有している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		毎日の終礼業務で共有を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		リトム(日誌)にて記録を残している。 カルテをつけている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的にモニタリングを行っている。 保護者様と話し合い計画の作成を行っている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		適材適所で人選をしている。 付き合いの長い職員、児童発達支援管理責任者、責任者等が行う。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		他事業所と連携を取り合っている。 学校、保育所の懇談や会議に出席している。 要望があれば連携している。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		情報の共有を徹底している。 会議や懇談で計画書の作成を行っている。 要望に応じ行っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		必要に応じて学校の会議に参加している。 入学予定の学校と連携を取っている。 要望に応じて行っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	3	
	31	(31は、事業所のみ回答)	1	5	行っていない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	行っていない。 個人情報保護のため行っていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		お子様をお引渡しする際に共有している。 常に連携を取っており、細かな情報まで共有している。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		モニタリング等で情報提供している。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		適宜説明している。 支援に関しては送迎時に共有している。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		保護者のニーズに合わせて作成している。 ご家庭のニーズを汲み取り、意向の確認を行っている。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	1	同意を得ている。 行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		LINEや電話等で相談対応している。 面談や普段の関わりで行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		夏祭りなど家族参加型のイベントを行い、交流の場を設けている。 季節のイベントで保護者向けに開放している日がある。	保護者同士の交流する機会は設けられていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		窓口を設置している。 行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		SNSやブログを活用している。 Instagramを活用している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の取り扱いには細心の注意を払っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	3		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8			行えていない。 プライバシー保護のため行っていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		年に二回発生を想定した訓練を行っている。 行っており、各家庭に周知している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		研修を含めて行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		研修を含めて行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		アレルギーのある子に対しては、保護者を通じて主治医に確認を取ってもらっている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		研修・訓練を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		モニタリングやイベントライン等で周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		記録を作成し、周知徹底している。 月に一度安全会議を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		資料作成をし、研修を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			記録を行い支援している。 同意書にもサインをいただいている。	